

日時
場所

令和四年七月三日(日)
倉敷市児島市民交流センター

午前十時開会(開場九時)

岡山県倉敷市児島味野二―二―三八

電話(〇八六)四七四―八五五〇

令和四年度

中国地区代表選出

全国剣詩舞コンクール中国地区大会

主催

公益財団法人

日本吟剣詩舞振興会
中国地区連絡協議会

全国剣詩舞コンクール決勝大会

◎とき R4-9-18(日) ◎ところ 東京・赤羽会館

大会次第

一、	国歌斉唱	一、	大会会長挨拶
一、	開会の辞	一、	来賓挨拶
一、	トロフィー返還と レプリカ贈呈	一、	審査会 議
一、	審査委員紹介	一、	審査会 評
一、	審査規定発表	一、	成績 表
一、	剣詩舞コンクール	一、	表彰 辞
一、	大会委員長挨拶	一、	閉 会

(注意)
一、役員集合午前九時

賤国漁人曰小吟剣詩舞振興会全詩

世川良一作

朝に今夕に舞うて心身と錬り
 礼節持し末て互に真と養う
 世界は一家比皆我友
 願わくは斯道と興して人倫を正さん

呂川鎮江書

審查委員

[illegible]

大会 会長
大会 副会長
大会 委員長
大会 副委員長
大会 事務長
大会 副事務長
大会 事務次長

山木高胡萱浮橋中高河藤森佐大
田戸山中源津本林木田上岡藤本
皓一鶴翠右虔清涼法蘊翔盟翔翠
山声山陽光山邦風洲泉山山風山

名譽審查委員長
審查委員長
審查副委員長
審查委員

森 島	藤 本	白 井	菅 源	杜 下	八 田	谷 野	大 下	大 本	藤 上	藤 上
麗 桜	靜 寿	翠 画	右 光	勝 峰	千 楓	恍 風	馨 風	翠 山	翔 山	南 山

大会相談役

中西 摂奨	有森 芳由	山本 鶯風	坪井 誓山	千田 岳鵬	藤岡 鴻琳
向山 滄洲	加藤 擎山	佐々木翠滉	長尾 岳鷺	赤木賀峻慶	福岡賀久淳
道下 登竜	赤木月薔城	藤木 翠華	土井 典周	二宮 信風	河村 昇山
佐々木龍花	西向寺静邦	小坂 蘆洲	岸本 岳靖	中本 龍風	河村 志風
竹内 龍馨	山城 明洲				

大会参与

米本 耿泉	猪木原凇泉	大山 師泉	武田 岳建	玄馬 六泉	倉本月華城
岡部 鴻愼	増田 斑山	青木 剣心	岸田 天洲	木戸翔希声	末広 盛峰
小谷賀清範	中西 潮誠	藺田 華山	楠部 倫山	原田 貢泉	秋山 翠柳
新内賀久隆	竹森 彪華	菅源 右近	秦 早洲	高木 婉風	吉村 菁風
白濱 妃風	兒玉 江風	秦 鷺洲	北野 典高	東 豊山	佐伯 統風
山本 龍貴	菅源 左翔	伊井野翔踪	遠藤鯉伯元	加藤 愉春	平井 潤翠
関口 麗煌	松浦 良紀	佐々木伸山	小川 聡風	玉井 薫風	金山 孝風
曾田 麗翠	網島 實尚				

大会運営役員

総務	◎生本 象山	○今脇 萌山	山田 皓山	金屋 馨心
受付	◎浅利 黎山	○赤木 啓秀	中溝 順子	今井 容子
司会	◎松永 楓山	○岡崎 玉紹	岡 象泉	
進行	◎妹尾 昇山	○長田 惠就	藤島 賀舟	石井 褒珠
会場	松浦 染昇			
音響	◎高原 怜子	○那須 華清	浅上 楓諒	赤沢 詠昇
駐車場	岸 恭仔	上仲 房子		
集票	◎岡本 監山	○永岡 笙馨	浅上 楓諒	
集票	◎岡本 監山	○那須 華清	浅上 楓諒	
集計	◎蟻正 寿萌	○森末登喜子	西村 祐子	岡崎あかり
接待	◎永岡 笙山	○奥田 萌麗	甲本 南陵	奥山 翔佳
救護	◎内藤 秀山	○藤原 恵友	和田 弘子	武村実千代
賞典	◎馬場 恵純			
会計	◎片岡 象真			
	◎山田 皓山			

● 実施要項

- (1) この「コンクール」は、わが国の伝統芸道である剣詩舞に親しむ一般並びに青少年に、日ごろの剣詩舞道精神の成果を競う場を与えると同時にすぐれた剣詩舞道家を発掘し、これを表彰して剣詩舞の向上と普及、発展を図ることを目的とし、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会制定の全国吟剣詩舞コンクール実施要項に基づいて実施する。

- (2) この「コンクール」の出場者は、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会中国地区連絡協議会に加盟する各県総連所属の会員又は門下で、各県総連の予選に出場して選出されたものとする。

● 失格条件

- (1) 決められた出場順に遅刻
(2) 指定吟題以外

● 注意事項

- (3) 審査結果発表並びに入賞者表彰時に事前に届けなく出場者本人が不在
(4) その他審査委員長が失格と認めた時

- (1) 成績の判定は日吟振内規による「剣詩舞コンクール審査規定」

- (2) 演題の変更は認めない

- (3) 演舞前後の拍手は禁止する

- (4) ビデオの持込・撮影を禁止する

- (5) 写真撮影を禁止する

- (6) 演舞中の会場出入を禁止する

- (7) 演舞中は静粛とし席の移動しない事

- ※ 役員の集合時間は九時迄にお願いします

◎コンクール出場者氏名

「剣舞」幼年の部 3名

番号	氏名	演題	曲番	成績
1	花本瑛里	桶狭間を過ぐ	1	
2	香西俐奈	書懷	2	
3	藤原昂大	書懷	2	

「剣舞」少年の部 7名

4	安藤翔	那須与一宗高	3	
---	-----	--------	---	--

5	梶藤純蓮	桶狭間を過ぐ	1	
6	高原択斗	桶狭間を過ぐ	1	
7	土井長翼	那須与一宗高	3	
8	古賀光	那須与一宗高	3	
9	高原美優	桶狭間を過ぐ	1	
10	島村うらら	桶狭間を過ぐ	1	

「剣舞」青年の部 9名

11	川村優芽逸	題	4	
----	-------	---	---	--

12	簀河原真菜美	中庸	6	
13	青木幸菜	中庸	6	
14	桂実希	垓下の歌	5	
15	杭田雷威	逸題	4	
16	上田梨乃	垓下の歌	5	
17	杭田永遠	逸題	4	
18	田中翼	中庸	6	
19	岡田真徳	逸題	4	

「詩舞」幼年の部 2名

21	20
藤原依知花	畑本彩希
応制天の橋立	応制天の橋立
9	9

「詩舞」少年の部 7名

25	24	23	22
藤原陽葉理	服部 涼	岡本美月柳	香西美佳
応制天の橋立	短歌・ふるさとの	応制天の橋立	応制天の橋立
9	11	9	9

「詩舞」青年の部 7名

28	27	26
山下心愛	畑本彩結	小西紋未
清 明	短歌・ふるさとの	清 明
10	11	10

「剣舞」一般三部 6名

35	34	33
松尾祐子	福永恵樹	澁田知佳依
赤馬が関舟中の作	漢 江	生田に宿す
12	14	13

32	31	30	29
若本未知恵	藤原美波	藤上綺夏	田中美紅
赤馬が関舟中の作	赤馬が関舟中の作	赤馬が関舟中の作	生田に宿す
12	12	12	13

39	38	37	36
棗田栄子	武田 濤	谷野光弘	岸本サツ子
中 庸	中 庸	中 庸	中 庸
6	6	6	6

41	40
石橋英子	竹原 茂
垓下の歌	中 庸
5	6

「剣舞」一般二部 7名

46	45	44	43	42
竹森裕二	小島隆仁	渡部洋子	河合 護	五十嵐久恵
垓下の歌	逸 題	中 庸	中 庸	中 庸
5	4	6	6	6

48	47
出本洋子	佐々木伸孝
垓下の歌	中 庸
5	6

「剣舞」一般一部 11名

53	52	51	50	49
水ノ上知美	菅岡和彦	小玉 明	犬飼秀文	吉田浩二
中 庸	中 庸	中 庸	逸 題	中 庸
6	6	6	4	6

55	54
藤島永治	木山優一
逸 題	中 庸
4	6

59	58	57	56
高田英史	城平エバ	林 大祐	津野千恵
逸 題	中 庸	垓下の歌	中 庸
4	6	5	6

「詩舞」一般三部 19名

60
安井美智子
生田に宿す
13

68	67	66	65	64	63	62	61
宮本輝子	谷口恵津子	間野明子	澤田紀代子	東坂厚美	大本ヨシ子	上寺邦子	神月幸江
生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	赤馬が関舟中の作
13	13	13	13	13	13	13	12

76	75	74	73	72	71	70	69
水川政重	佐藤美代子	岡崎啓子	柳本佐代子	数井緑	土江松子	須藤常盤	安田美都子
生田に宿す	赤馬が関舟中の作	生田に宿す	生田に宿す	漢江	和歌・あさみどり	和歌・あさみどり	生田に宿す
13	12	13	13	14	16	16	13

83	82	81	80	79
中島桂子	石光順恵	大内洋子	田辺幸恵	増井いづみ
生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	赤馬が関舟中の作	梅花絶句
13	13	13	12	15

「詩舞」一般二部 15名

78	77
瀬尾一枝	金屋俊枝
赤馬が関舟中の作	生田に宿す
12	13

91	90	89	88	87	86	85	84
佐藤久美子	岩崎幸子	妹尾いづみ	杉本典子	藤岡洋子	中野節子	安長洋子	瀧上道子
生田に宿す	漢江	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す
13	14	13	13	13	13	13	13

98	97	96	95	94	「詩舞」一般一部 11名	93	92
松山知子	濱野恵理	中津一美	高見さゆり	原歩		池本真由美	三角園幸重
生田に宿す	漢江	赤馬が関舟中の作	生田に宿す	生田に宿す		和歌・あさみどり	生田に宿す
13	14	12	13	13		16	13

104	103	102	101	100	99
勝部美穂子	加谷真理子	川口弥生	練尾加寿美	外川セツ	山本雅江
漢江	漢江	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す
14	14	13	13	13	13

部 門	剣 舞		詩 舞	
	入賞数	決勝進出	入賞数	決勝進出
幼年の部	1 (2)	1	1 (1)	1
少年の部	3 (4)	1	3 (4)	2
青年の部	3	1	3	1
一般三部	2	1	6	1
一般二部	3	1	5	3
一般一部	4	2	4	2
合 計	16	7	22	10

◎「幼年の部」「少年の部」の（ ）内は敢闘賞数

令和4年度全国剣詩舞コンクール指定吟題

《剣舞》

幼年・少年の部

① 桶狭間を過ぐ

② 書 懷

③ 那須与一宗高

大田錦城

篠原国幹

松口月城

《詩舞》

幼年・少年の部

⑨ 応制天の橋立

⑩ 清 明

⑪ 短歌・ふるさとの

釈 希世

杜 牧

石川啄木

青年・一般の部

④ 逸 題

⑤ 垓下の歌

⑥ 中 庸

⑦ 北庄懷古

⑧ 和歌・吹く風を

山内容堂

項 籍

元田東野

芳川越山

源 義家

青年・一般の部

⑫ 赤馬が関舟中の作

⑬ 生田に宿す

⑭ 漢 江

⑮ 梅花絶句

⑯ 和歌・あさみどり

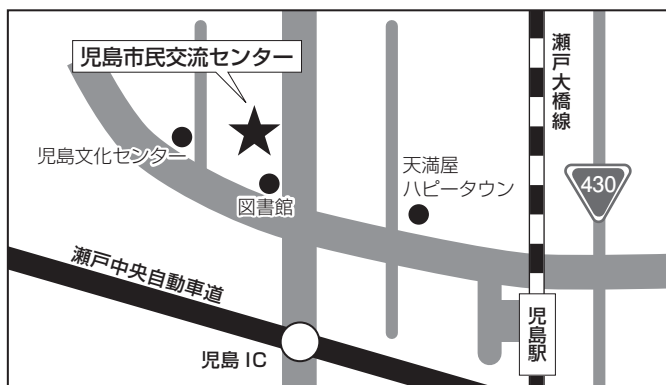
伊形靈雨

菅 茶山

杜 牧

土屋竹雨

明治天皇御製



■電車でご来館の場合

* J R 児島駅より徒歩で約 15 分

■バスでご来館の場合

* J R 児島駅より児島市民交流センター前下車 約 5 分

■車でご来館の場合

* 交流センター利用者（含む、見学・喫茶利用者）は、
駐車場入庫 1 回につき、200 円の割引いたします。

駐車場 1 時間 100 円（入庫から 24 時間まで最大 500 円）

- ・ 第 1 駐車場 8 台
- ・ 第 2 駐車場 37 台
- ・ 第 3 駐車場 175 台